



国内大手証券各社で口座乗取り急増中 今年4月に金融庁が緊急通報発令

4月3日付(同月18日に更新)の金融庁ホームページ通報によりますと、今年2月以降4月16日までの約2～3ヶ月間で、不正アクセス件数が43件から1,847件に拡大、これにともなった不正取引件数は33件から736件に膨れ上がり、不正売買合計金額は、約1.3億円から約694億円、実に530倍以上の増加です。

犯罪グループの手口は「ハンプ&ダンプ手法」

証券取引のルールで、不正に奪い取った証券を本人名義以外の口座宛てに出金できないため、犯罪グループは「ハンプ(吊り上げ)&ダンプ(売り抜け)」といわれる巧妙な手法を利用しています。

具体的には、販売規模の小さい安い中国株を犯罪グループが事前に入手しておき、その後他人名義口座に不正アクセスし、口座名義人に成りすまして当該中国株を大量に買わせます。これによりその株価が急激に跳ね上がり、その瞬間にあらかじめ保有していた手持ち株を売却して大きな利益を得ています。その後は当該株を空売りし、一挙に株価を暴落させ、自分たち以外の当該株保有者は大損するしくみになっています。

不正アクセスされた損害は証券会社では補ってくれない？

今回の事件発覚後、証券会社では被害規模の大きさにかんがみ、自社約款を変更＝損害補填の免責条項を修正(改悪?)し、第三者不正ログイン(アクセス)での損害を証券会社は補填しなくてもいい内容になっています。よって今回のような不正利用の場合、証券会社は損害補填が免責される事態になっています(👉但し、5月3日付で証券各社が本件損害補償を公表。詳細は証券各社情報を参照願います)。

その対策は？

不正アクセス対策は「怪しいアプリを端末に入れない」「Chrome 拡張機能に注意する」「パスワードをブラウザに記憶させない(保存しない)」「怪しいメ

ールの添付ファイルやリンク先にアクセスしない」「パソコンのセキュリティを直近の内容に更新しておく」ことが大切です。

携帯端末でも、不正アプリ取込み防止のため、「Google Play」や「Apple Store」のサイトにアクセス、検索してダウンロードしましょう。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

今、イオンカード・楽天カードが悪用されています

イオンや楽天のカード会社公式サイトによりますと、同社に成りすましてのいわゆるフィッシング手法により、個人のカード情報が盗まれ、使用していないにもかかわらず、カード利用通知が送られ、詐欺被害に遭うケースが急増している模様です。

以下は、上記のうち楽天カード社からの注意喚起内容ですが、これ以外のクレジット会社も犯罪グループから狙われています。

楽天カードセンタ...
2024 04/11 03:24

【緊急通知】楽天カード利用に関する重要事項

from 楽天カードセンター <info@fe406.com> ①

いつも楽天カードをご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社の不正検知システムにより、一部のカードご利用分について決済を停止させていただきましたことお知らせいたします。

楽天カードでは、第三者による不正使用を防止し、会員の皆様に安心してカードをご利用いただくため、会員様へカードのご利用確認を行っております。

つきましては、お手元にカードをご準備いただき、以下よりご利用内容の確認をお願いいたします。なお、メール送信より72時間経過しますとURLは無効となり、こ ②

確認いただけませんので、ご注意ください。

[確認ページへのリンク]: <https://www.rakuten-card.co.jp/e-navi/>

※「rakuten」「e-navi」など表面上正しい表記だが偽サイトへ遷移

以下の点をご確認・対策としてぜひ取り入れてください。

① 差出人を確認する

送信元のメールアドレスが異なっています。楽天カードからお送りするメールの送信元ドメイン（@以下）は「@mail.rakuten-card.co.jp」です。

※ 一部メールにつきましては、「@mkrm.rakuten.co.jp」「@bounce.rakuten-card.co.jp」のドメインでの配信となります。

また、宛先名称「楽天カードセンター」は存在しません。正しくは「楽天カード株式会社」「楽天カード通信」「楽天カードニュース」「楽天カードショッピングニュース」「楽天カード特典付きニュース」「楽天カードBESTレコメンド」のいずれかとなります。

② 不自然な場所で改行されている

文字が一部かけていたり、不自然な日本語が使用されていることがあります。怪しいと思ったらリンクはクリック（タップ）せず、削除するようにしましょう。

対策 メール内リンクはクリック（タップ）しない

緊急や登録情報の更新を促す内容の場合は特に、メール内のリンクからではなくブラウザ検索やお気に入りなどから楽天カード会員様専用ページ「楽天e-NAVI」へアクセスしてください。

対応策は、「日本クレジット協会」ホームページを検索してフィッシング詐欺対策をご一読のうえ、カード詐欺に遭わないように心掛けましょう。